

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	建築コスト小委員会		主 査 名：岩松準 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：森本 信明 主 査 名：
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、建築プロジェクトの価値とは何で、それを如何にして高めるかについて、建築生産コスト、積算技術、コンストラクション・マネジメント、ライフサイクル、サプライチェーン、ファイナンス、発注調達方式、経済・市場、生産技術の革新など、多様な切り口から調査分析することを目的とする。</p> <p>1. 明治大正昭和期の建築経済、建築生産、産業組織、積算システム等の調査研究 2. 先進諸外国の建築コスト管理等の調査研究 3. 建築コスト情報のあり方についての研究 4. 積算機能に関する研究</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無し</p> <p>岩松準 (主査；建築コスト管理システム研究所)、橋本真一 (幹事；建設物価調査会)、木本健二 (幹事；芝浦工業大学)、磯部正 (国土交通省)、伊藤一義 ((株) 日本設計)、大島和義 (ナカノフード建設)、奥山裕史 (三井造船)、小幡敏信 (本田技研工業)、楠山登喜雄 (フタバエンジニアリング)、原田誠 (O P M)、松本光平 (明海大学名誉教授)、山崎弘貴 (フタバエンジニアリング)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2010 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keizai/cost/">http://news-sv.aij.or.jp/keizai/cost/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 「建築コスト七不思議 Q&amp;A 集」の報告書ドラフトに対する査読と議論を行い、改訂版をまとめた。</p> <p>2. 下記に関する議論と情報交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築コスト七不思議のルーツ (古川修文庫資料)</li> <li>・ 英国の RICS の運営に対する QS の記事紹介</li> <li>・ 中国の積算事情について</li> <li>・ PAQS(シンガポール)報告</li> <li>・ 建築コストや積算関連の学術用語について</li> <li>・ 建設業者のデータベースに見る建設業者の多様性</li> <li>・ クラスタ分析による建物用途別工事費の類型化</li> <li>・ LCC、設計事務所のコストマネジメント実態</li> <li>・ 新委員の紹介・プレゼンテーション</li> <li>・ 建築経済関係論文発表会 (キャンパス FM, LCC と中長期修繕計画、ほか)</li> </ul>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 建築コスト七不思議 Q&amp;A 集 (第 1 版) 報告書の刊行、WS の開催</p> <p>2. 外部との情報交換 (とくに情報発信が不足)</p> <p>3. 情報交換が主であり、建築コスト研究についての多角的な研究・分析アプローチについての認識が不足している</p>

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。